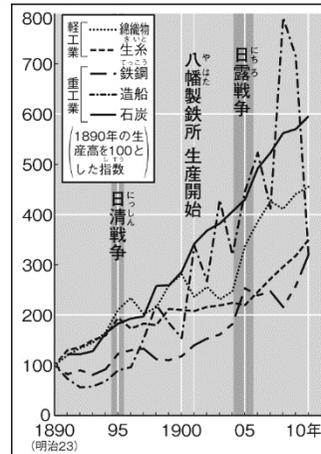


第5部 近代 近代国家の歩みと国際社会
第6章 アジアの強国の光と影 1・2 明治時代の産業 教科書P184~187

【問題】 右の資料から読み取れることを書きましょう。

- 日清戦争後の日本の工業はどうなっている？
- 右の資料で一番生産が増えたものは？
- それは何に使われる？



めあて

- 1900年代 第2次(②)へ進む
- 官営の(⑤)工場)の拡充と(⑥)の国産化
- 世界最大の(⑦)輸出国になる
- 技術革新により(⑧)の生産が増大、輸出額が輸入額を上回る
- 豊田佐吉の発明…豊田式自動織機
- 鉄道を国が管理(国鉄へ)

【考えよう】 日本が(②)を進めることができた理由と、その後の社会で問題になりそうなことを考えて書きましょう。

日本が(②)を進めることができたのは…

その後、問題になりそうなことは…

○ 産業革命の影響

- 良い点…工業が発展して、
- 問題点…(1)税金が、
- (2) (⑨)の差が広がる。
- (3) 農民が土地を手放し、地主の下で(⑩)になる。
→生活が苦しいため、(⑪)になって働きに出たり、海外に移住したりする。
- (4) (⑫)がおこる
→(⑬)運動)に発展→政府は⑬の運動者を処刑(⑭)事件)
- (5)公害の発生→足尾銅毒事件、(⑯)による反対運動



まとめ
明治の産業の発展は()業と()業で、()が国有化されたこと。
産業革命後の問題点を2つあげると…

○ 明治の産業と経済

【調べよう】 教科書P184 資料②『明治時代の産業と鉄道』に書かれていることをまとめてみよう。

- どのような種類の工場がある？
造船所、
- 鉱山の種類は？
三池炭鉱、釜石鉄山、
- 鉄道の範囲はどうなっている？

- 1880年代 官営工場の払い下げ(民営化)
→政商から(①)へ [三菱, 三井, 住友 など]
- 1890年代 第1次(②)おこる
→(③)工業)の発展と、民間の(④)の発展
→綿糸生産量が輸入量を上回る。日清戦争後は、
→製糸業は機械による生産が手工業を上回る
世界遺産《 》